

福住MAP

東月寒

至 清田

羊ヶ丘



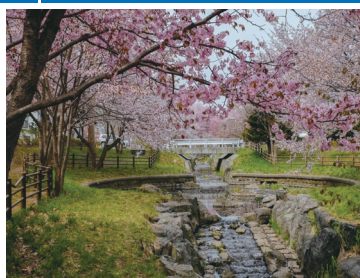
札幌ドーム

4 札幌ハリストス正教会



現在の地に聖堂が建てられたのは1971年（昭和46）。それ以前は、南7条東1丁目にあり、1936年（昭和11）建立で市民にも親しまれていたが、札幌オリンピック冬季大会に際して施行された道路改修のためにこの地に移転しました。

5 福住小川公園



場所は福住2条2丁目～3条1丁目
1977年に作られ、平成13年に全面改修。公園の中をうらうちない川が流れ、親水施設もあります。桜の木が多く、桜開花時期の5月には、お花見も楽しめます。小さいお子さんから大人までみんなが楽しめる公園です。

6 プラタナスの大木と子ども達



福住幼稚園の園庭にプラタナスの大木がそびえています。開園当初（昭和55年）は人の腕ほどの太さでしたが、今は、子どもたちが何人ももて囲むほどの幹です。

7 玉田守さんの慰霊碑



昭和17年5月軍機演習訓練中に墜落大破し、若干19歳で殉職した少年飛行兵玉田守氏を悔み、在郷軍人会が主体となり、現地所有者の協力を得て同年7月に建立。開拓時入植者の子孫による親睦団体「福住三六会」によって慰霊の儀と維持管理が続けられてきました。碑倒壊の危険から平成26年11月解体撤去、現在は石碑の文字を写し取った金属製の表示板が設置されています。

羊ヶ丘展望台



森林総合研究所

※地図に載せた名所や施設は、主だったものです。

1 福住寺



浄土真宗本願寺派のお寺で、読み方は「ふくじゅうじ」。明治35年創建。境内には保存樹の指定を受けているイチヨウ、クリの木があります。

2 福住厳島神社・力石



福住厳島神社
明治17年、当時たくさんの広島県からの移民が福住に入り、故郷をしのんで、厳島神社をお祀りしてこの社名になりました。この神社は、空の社殿だけの時代もありましたが、平成4年にまた厳島神社と、伏見稲荷神社から平成8年には北野天満宮より御分霊をいただいております。

力石
地元青年団の若者達が、石を肩まで持ち上げ力比べの対象となった「力石」。大正5年当時、西山小学校の旧校舎跡から出てきた28貫目（105kg）と32貫目（120kg）の二石を、現在の位置に設置したが、昭和35年頃盗難により二石とも行方不明に。現存する力石は、昭和45年福住で農業を営んでいた板摺家の畑から形状の似た石が掘り出され（28貫目）これを移設した物です。

3 福住開拓記念館



福住開拓記念館には、開拓当時の生活の様子を描いた版画70点と、むかしの馬車や農機具など多数の展示物があります。記念館は昭和46年に開館し、その後、平成9年に現在の福住まちづくりセンターに併設されました。

※公開時間8:45～17:15（土・日・祝・年末年始は休館）

福住まちづくりセンター・福住地区会館

福住まちづくりセンターは、福住開拓記念館、福住地区会館との合築で、市の出先機関です。（業務内容は表面を参照）

福住地区会館は、地域住民の集会場として、福住地区町内会連合会が札幌市から借り受けて運営し、町内会活動や各種団体活動の拠点として利用されています。利用等についてのご相談は、まちづくりセンター窓口へお問い合わせください。

※福住まちづくりセンター、福住地区会館 ☎011-855-6615

レンガ倉庫群

福住で明治27年頃から昭和45年頃迄、リンゴ栽培が行なわれ、その収穫した物の保管倉庫として、レンガ造りの建物が造られました。

その後リンゴの病気や食糧事情の変化で、リンゴ作りは終わりましたが、丈夫な倉庫は長い年月に耐え、今も現役として、倉庫、作業場として生き続けています。



※個人の所有物ですので、見学にはご注意ください。

約200m